

岩船寺：阿弥陀如来

(阿弥陀如来坐像)

岩船寺の本殿には本尊、「衣をまとった」阿弥陀如来が祀られており、阿弥陀如来とは、死者を極楽へ導く仏様のことです。この阿弥陀如来坐像は3m近い高さがあり、国の重要文化財に指定されています。巨大な一本の木（ケヤキ）から造られており、その大きさはとても印象的です。制作の正確な日付が、像内に発見された銘文により1000年以上前の946年であるとも知られています。制作日の判明する阿弥陀如来坐像の中で、岩船寺の像が一番古いと考えられています。像の大きさと歴史に加え、それが保存されていることがとても貴重です。また、像の左側の衣には当時の朱の彩色が残っているのを見て取ることができます。